



# 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月6日

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 實吉 政知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 津川 和人

TEL 045-948-1961

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,158	8.0	855	1.3	857	1.8	617	14.1
30年3月期第3四半期	5,704	2.1	844	10.4	842	10.2	718	2,034.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	72.05	
30年3月期第3四半期	83.44	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	15,334	13,261	86.5
30年3月期	15,493	13,017	84.0

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 13,261百万円 30年3月期 13,017百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		45.00	45.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	7.5	1,400	6.1	1,400	6.1	900	31.2	104.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	8,760,000 株	30年3月期	8,760,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	188,082 株	30年3月期	193,473 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	8,569,585 株	30年3月期3Q	8,612,070 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が続く一方、通商問題の深刻化が懸念されるなど、先行きの不透明な状況で推移しました。

医療機器業界では、政府による社会保障費の抑制に向けた取り組みが一段と進む中で、診療報酬についてもネットのマイナス改定となるなど、医療施設において一層の経営効率化が求められております。

このような経営環境の中で当社は、主力製品である採血管準備装置に関して最新システム「Assist More」の販売を開始するなど、引き続き更新需要の確実な捕捉、新規ニーズの掘り起こしに努めてまいりました。また、検体検査装置分野においては、主力の血液ガス分析装置を中心に積極的な販売活動を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,158,477千円（前年同期比8.0%増加）となりました。なお、総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比3.9ポイント増加し14.0%となりました。

利益面に関しては、売上高の増加により売上総利益が2,868,117千円（前年同期比6.5%増加）となり、販売費及び一般管理費については、人件費の増加や消耗品等の発送に係る運送費の値上げ等により2,012,427千円（前年同期比8.8%増加）、営業利益は855,690千円（前年同期比1.3%増加）、経常利益は857,757千円（前年同期比1.8%増加）、四半期純利益は、前期には法人税等の還付があったことから前年同期比で減少となる617,414千円（前年同期比14.1%減少）となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は2,070,217千円（前年同期比3.1%増加）となりました。

国内市場の売上高は、第3四半期会計期間における売上高が前年同期比においてやや下回ったことにより1,592,003千円（前年同期比7.8%減少）となった一方、海外市場では、中国市場を中心にアジア向けの販売が好調を維持し、売上高は478,213千円（前年同期比70.7%増加）となりました。

##### ・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は447,502千円（前年同期比33.6%増加）となりました。

血液ガス分析装置の売上が、デスクトップ型・ハンディ型ともに好調を維持し、国内市場での売上高は340,284千円（前年同期比25.4%増加）、海外市場での売上高は107,217千円（前年同期比68.8%増加）となりました。

##### ・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は3,640,757千円（前年同期比8.3%増加）となりました。

装置の累計販売台数の増加に伴い、国内市場での売上高は3,362,325千円（前年同期比7.5%増加）、海外市場での売上高は278,432千円（前年同期比18.9%増加）と、いずれも伸長しました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は15,334,332千円となり、前事業年度末比158,819千円減少しました。これは主に、採血管準備装置等の仕入増加により商品及び製品が721,297千円増加、債権回収方法の変更等により電子記録債権が96,443千円増加した一方、売上債権の回収が進んだことにより売掛金が848,314千円減少したほか、仕入による支払い増加等により現金及び預金が131,184千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債の残高は2,073,178千円となり、前事業年度末比402,253千円減少しました。これは主に、前受金が36,314千円増加した一方、法人税等の納付により未払法人税等が308,860千円減少、未払消費税等が76,053千円減少、賞与の支払いにより賞与引当金が66,278千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は13,261,153千円となり、前事業年度末比243,433千円増加しました。これは、剰余金の配当が385,493千円、四半期純利益が617,414千円であったこと等によるものであります。なお、自己資本比率は86.5%となり、前事業年度末比2.5ポイント増加しました。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月9日付の平成30年3月期決算短信で発表した平成31年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	9,327,288	9,196,104
受取手形	189,334	120,830
電子記録債権	284,159	380,602
売掛金	2,747,734	1,899,419
商品及び製品	921,975	1,643,273
仕掛品	181,964	145,191
原材料及び貯蔵品	91,598	103,058
前払費用	28,663	40,215
未収消費税等	—	62,322
その他	11,756	40,309
貸倒引当金	△1,560	△2,670
流動資産合計	13,782,913	13,628,657
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	918,928	949,453
減価償却累計額	△539,893	△558,289
建物（純額）	379,035	391,164
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△3,553	△3,603
構築物（純額）	523	474
機械及び装置	177,374	186,219
減価償却累計額	△119,807	△133,097
機械及び装置（純額）	57,566	53,121
工具、器具及び備品	147,545	163,992
減価償却累計額	△115,534	△126,697
工具、器具及び備品（純額）	32,010	37,295
建設仮勘定	—	4,307
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,256,463	1,273,691
<b>無形固定資産</b>		
商標権	66	16
ソフトウェア	17,871	15,486
ソフトウェア仮勘定	—	5,720
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	19,115	22,401
<b>投資その他の資産</b>		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	288,237	267,689
長期前払費用	38,257	29,736
その他	100,654	104,646
投資その他の資産合計	434,659	409,583
固定資産合計	1,710,239	1,705,675
資産合計	15,493,152	15,334,332

（単位：千円）

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,233,279	1,216,693
未払金	156,171	149,264
未払費用	62,456	73,172
未払法人税等	340,453	31,593
未払消費税等	76,053	-
前受金	78,592	114,907
預り金	8,693	31,680
前受収益	76,950	105,783
賞与引当金	120,278	54,000
役員賞与引当金	26,675	-
その他	1,637	1,339
流動負債合計	2,181,239	1,778,434
固定負債		
退職給付引当金	126,310	143,501
役員退職慰労引当金	120,590	122,423
製品保証引当金	6,934	4,105
その他	40,356	24,713
固定負債合計	294,192	294,744
負債合計	2,475,432	2,073,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	11,382,780	11,614,377
自己株式	△402,786	△390,949
株主資本合計	13,017,720	13,261,153
純資産合計	13,017,720	13,261,153
負債純資産合計	15,493,152	15,334,332

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	5,704,644	6,158,477
売上原価	3,010,610	3,290,359
売上総利益	2,694,033	2,868,117
販売費及び一般管理費	1,849,073	2,012,427
営業利益	844,960	855,690
営業外収益		
受取利息	237	253
受取配当金	0	0
その他	1,001	2,803
営業外収益合計	1,238	3,056
営業外費用		
支払利息	72	71
為替差損	513	914
その他	2,928	4
営業外費用合計	3,514	989
経常利益	842,684	857,757
特別利益		
還付消費税等	64,253	-
受取損害賠償金	-	16,510
特別利益合計	64,253	16,510
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	14,320	-
訴訟関連費用	31,692	2,152
特別損失合計	46,013	2,152
税引前四半期純利益	860,924	872,115
法人税、住民税及び事業税	212,927	234,153
法人税等還付税額	△91,405	-
法人税等調整額	20,836	20,547
法人税等合計	142,359	254,701
四半期純利益	718,565	617,414

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）及び当第3四半期累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）

当社は、医療機器及びこれら装置で使用する消耗品の製造、販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。